

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】令和4年11月25日(2022.11.25)

【国際公開番号】WO2020/126262

【公表番号】特表2022-511744(P2022-511744A)

【公表日】令和4年2月1日(2022.2.1)

【年通号数】公開公報(特許)2022-018

【出願番号】特願2021-528449(P2021-528449)

【国際特許分類】

H 0 4 N 1 9 / 1 3 ( 2 0 1 4 . 0 1 )

H 0 4 N 1 9 / 5 2 ( 2 0 1 4 . 0 1 )

H 0 4 N 1 9 / 1 8 4 ( 2 0 1 4 . 0 1 )

H 0 4 N 1 9 / 1 5 9 ( 2 0 1 4 . 0 1 )

【 F I 】

H 0 4 N 1 9 / 1 3

H 0 4 N 1 9 / 5 2

H 0 4 N 1 9 / 1 8 4

H 0 4 N 1 9 / 1 5 9

10

20

【手続補正書】

【提出日】令和4年11月16日(2022.11.16)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

動き情報予測子に関する情報を符号化する方法であって、  
複数の動き情報予測子候補のうちの1つを選択することと、  
C A B A C 符号化を使用して、選択された動き情報予測子候補を識別するための情報を符号化することと

30

を含み、

前記情報の少なくとも1つのビットの前記C A B A C符号化について、境界により分割される第1ブロック予測子と第2ブロック予測子とからブロック予測子が得られるマージモードは、前記マージモードと異なる別のインター予測モードと同じコンテキスト変数を使用する

ことを特徴とする方法。

【請求項2】

動き情報予測子に関する情報を復号する方法であって、  
C A B A C 復号を使用して、複数の動き情報予測子候補のうちの1つを識別するための情報を復号することと、

40

復号された情報を用いて、複数の動き情報予測子候補のうちの1つを選択することと

を含み、

前記情報の少なくとも1つのビットの前記C A B A C復号について、境界により分割される第1ブロック予測子と第2ブロック予測子とからブロック予測子が得られるマージモードは、前記マージモードと異なる別のインター予測モードと同じコンテキスト変数を使用する

ことを特徴とする方法。

50

## 【請求項 3】

前記情報の第 1 番目のビットを除くすべてのビットが、バイパス符号化されるか、またはバイパス復号されることを特徴とする請求項 1 または 2 に記載の方法。

## 【請求項 4】

前記別のインター予測モードは、マージモードであることを特徴とする請求項 1 ないし 3 のいずれか 1 項に記載の方法。

## 【請求項 5】

前記情報の少なくとも 1 つのビットは、スキップモードが使用されるときに C A B A C 符号化されるか、または C A B A C 復号されることを特徴とする請求項 1 ないし 4 のいずれか 1 項に記載の方法。

10

## 【請求項 6】

前記情報は、動き情報予測子インデックスまたはフラグを含むことを特徴とする請求項 1 または 2 に記載の方法。

## 【請求項 7】

動き情報予測子候補が、動きベクトルを取得するための情報を含むことを特徴とする請求項 1 または 2 に記載の方法。

## 【請求項 8】

ビットストリームから、前記複数の動き情報予測子候補に含まれ得る動き情報予測子候補の最大数を決定するための情報を取得することを含むことを特徴とする請求項 1 または 2 に記載の方法。

20

## 【請求項 9】

動き情報予測子に関する情報を符号化する装置であって、  
複数の動き情報予測子候補のうちの 1 つを選択する手段と、  
C A B A C 符号化を使用して、選択された動き情報予測子候補を識別するための情報を符号化する手段と  
を含み、

前記情報の少なくとも 1 つのビットの前記 C A B A C 符号化について、境界により分割される第 1 ブロック予測子と第 2 ブロック予測子とからブロック予測子が得られるマージモードは、前記マージモードと異なる別のインター予測モードと同じコンテキスト変数を使用する

30

ことを特徴とする装置。

## 【請求項 10】

動き情報予測子に関する情報を復号する方法であって、  
C A B A C 復号を使用して、複数の動き情報予測子候補のうちの 1 つを識別するための情報を復号する手段と、  
復号された情報を用いて、複数の動き情報予測子候補のうちの 1 つを選択する手段と  
を含み、

前記情報の少なくとも 1 つのビットの前記 C A B A C 復号について、境界により分割される第 1 ブロック予測子と第 2 ブロック予測子とからブロック予測子が得られるマージモードは、前記マージモードと異なる別のインター予測モードと同じコンテキスト変数を使用する

40

ことを特徴とする装置。

## 【請求項 11】

コンピュータに、請求項 1 または 2 に記載の方法を実行させるためのコンピュータプログラム。

50